

岩手県立大学大学院
総合政策研究科
博士前期課程

令和4年度(第1次募集)

入学試験問題

専門科目

志願区分：一般

注意事項：

1. この試験は、10時00分から12時00分までである。
2. 「始め」の合図があるまで、問題を見てはならない。
3. 試験中に、問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合には、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
4. 解答は、黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入しなさい。万年筆、ボールペン等は使用してはならない。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

注意事項：

1. **1**から**3**の3題のうち、2題を選んで解答しなさい。3題解答した時は採点しません。また、選んだ問題番号を解答の最初に明記しなさい。
2. 解答は、問題別にそれぞれ別の解答用紙に書きなさい。
3. 各解答用紙の所定の欄に、志願区分、受験番号および氏名を記入しなさい。

1 新型コロナウイルスの影響によりわが国のマスク需要が増大した。マスクの需要が急増したにもかかわらず、マスクの供給は生産と関連があるため急増することができず、その結果需要と供給のバランスが崩れ、マスクの値段が高騰したことは記憶に新しい。これに対して、中国ではマスク需要の増加に合わせてマスクの生産が急増している。一方、わが国では中国にマスクの供給を依存している構造から脱却をするためマスクの国内生産を進めようとしている。このような現状について、国際経済学の視点を踏まえて、わが国のマスク供給体制のあるべき姿を600字以内で論じなさい。なお、論じるにあたって、以下のキーワードを盛り込みなさい。

キーワード：リカードの比較優位説（リカードモデル）、国際分業モデル、最適地生産、経済安全保障、戦略的物資

2 岩手県の農業は、水稻及び転作作物としての小麦、大豆や酪農・畜産、キュウリやトマトなどの園芸作物の生産による農業振興を図ってきた。近年「田んぼアート」、りんごのオーナー制度など、いわゆる「コト消費」への対応が求められている。そこで、岩手県の農業の主体である水田農業や酪農・畜産など食料の原材料を「コト消費」に結びつけて付加価値をつける手段と方法を600字以内で述べなさい。

3 ECでは在庫の制約が緩和されることでロングテールなどの現象が見られるが、実店舗では在庫に物理的制約がある。このような製品（有形財）の在庫について、製造業者と小売業者、それぞれの立場から在庫の役割を説明しなさい。また、一般的に在庫を保有することができないサービス（無形財）では、どのような手法で利益を最大化しているのか、合わせて600字以内で説明しなさい。